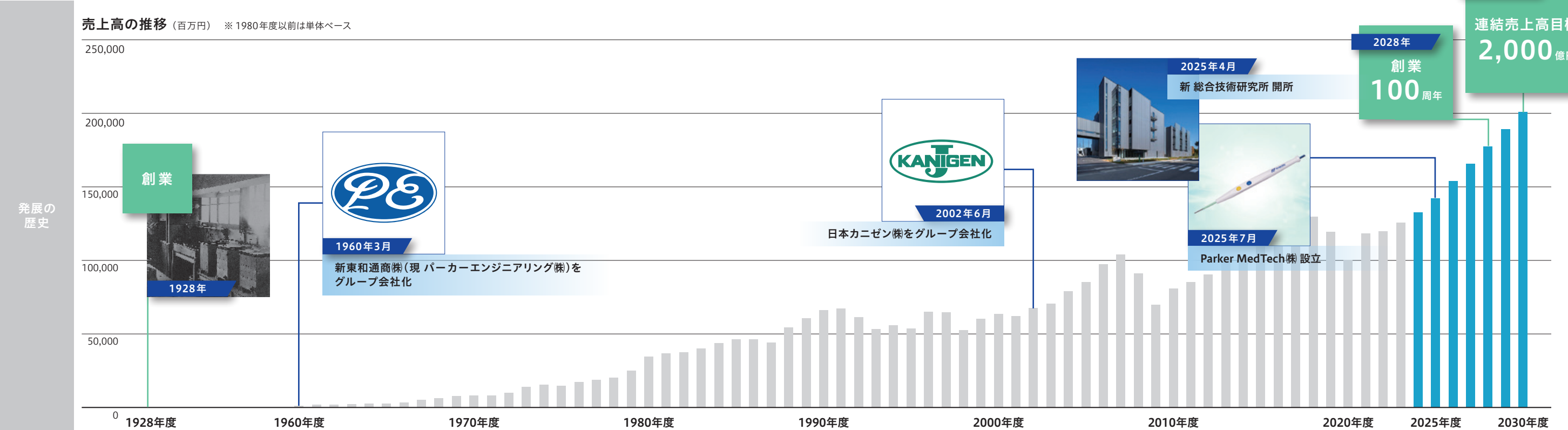
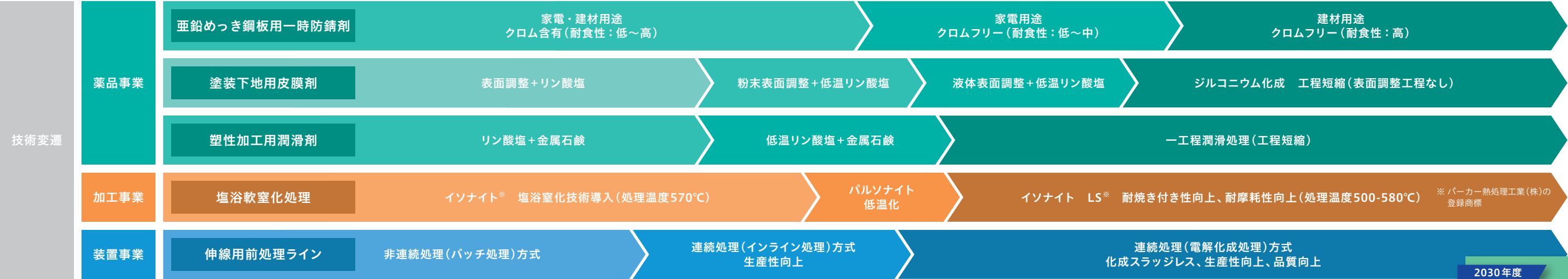


成長の軌跡

ー 表面処理技術のパイオニアから、グローバル価値創造企業へー

当社グループは、既存技術を深化させると同時に、新たな分野や市場へと果敢に挑み続けてきました。
グループの強みである堅実な技術力と柔軟な変革力を最大化しつつ、これからの100年も、産業と社会に不可欠な存在であり続け、さらなる成長を引き寄せていきます。



黎明期
基礎技術の確立と産業支援
（1928～1950年代）

当社は日本で初めて「パーカー処理（リン酸塩皮膜処理）」を工業化し、自動車・鉄鋼・機械業界をはじめとした工業の近代化に貢献。表面処理の必要性が浸透していなかった時代から市場を開拓し、独自の技術と信頼性で業界基盤を築きました。

成長期
高度経済成長とともに全国へ拠点拡大
（1960～1980年代）

経済成長と自動車産業の発展に呼応し、全国各地に事業所を展開。表面処理加工にとどまらず、化成品の研究・開発力も強化し、ワンストップでの製品・サービスの提供体制を確立。これにより、お客さまの信頼を獲得し、安定した収益基盤を確立しました。

多角化と国際化
グローバル市場への進出
（1990～2000年代）

海外展開を本格化し、中国・東南アジア・北米へとネットワークを拡大。海外でも日本品質の表面処理技術が評価され、グローバルサプライヤーとしての地位を確立。さらに、電子部品など新分野向けの事業も拡大しました。

現在～未来
持続可能な成長とイノベーション
（2010年代以降）

近年では医療機器・環境対応型技術の開発に注力し、脱炭素・省資源・高機能化という市場ニーズに対応。また、サステナビリティやESGを重視した経営体制への移行を進め、持続可能な企業価値の向上に取り組んでいます。